

平成25年度（2013年）事業報告

（平成25年7月1日～平成25年12月31日）

1. 試合の運営管理に関して（平成25年通期）

(1) 世界(男子 23/女子 15/ユース男子 6)、東洋太平洋(男子 19/女子 7)、日本(32)の別記タイトルマッチ及びその他合計 233 興行（1800 試合）の試合管理を行う。

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスの発給。

ライセンスの発行数 4,544 （内：外国人ボクサー235名）

（内訳）ボクサー(2,564 内女子 126名)、プロモーター(81)、クラブオーナー(282)、マネージャー(398)、トレーナー(606)、セコンド(390)、マッチメーカー(4)、レフェリー(97)、タイムキーパー(12)、アナウンサー(10)、ドクター(93)、進行(7)。

(3) プロボクサー新人テスト実施

《男子》受験者総数(C級)：632名 合格者：473名 (合格率74.8%)

〃 (B級)：12名 12名 (合格率100%)

〃 (A級)：1名 1名 (合格率100%)

《女子》受験者総数(C級)：24名 合格者：22名 (合格率91.6%)

〃 (B級)：1名 1名

(4) 日本ランキング決定、発表（月例）

(5) 試合役員研修会（東京地区月日他原則毎月、他4地区は随時）

採点基準、レフェリング（反則処置）、事故防止他。

2. 安全防護に関して（平成25年7月1日以降）

(1) JBC・JPBA 医事講習会(9月4日、於・後楽園ホール5F展示会場)

【講師】：島田宏之医師 駿河台日本大学病院眼科教授

「スポーツと眼外傷」

野中雄一郎コミッションドクター 東京慈恵会医科大学病院脳神経外科

「リングサイドドクターがレフェリーに試合続行不可能を助言する時」

大槻穰治コミッションドクター 東京慈恵会医科大学第三病院救急部准教授

「熱中症及び試合統計など」

これまでライセンス失効としていた網膜剥離につき、治療技術の進歩により完治等を条件に現役続行を認めることとなり、改めて網膜剥離のメカニズムや網膜裂孔との違いなどが詳細に講義された。また、現場を預かるリングサイドドクターの立場から、試合続行の可否のアドバイスの難しさなどが説明された。加えて、暑さを増している

夏場の熱中症対策や試合統計などが分かりやすく講義された。これらの講義を通じ、さまざまな角度から業界関係者の安全防護に対する意識をより一層高め、事故の根絶を目指すべく防止策が討議された。参加者110名。

(2) リング事故

岡田 哲慎 (ランド) : 12月20日後樂園ホールにおいて、神山匡史 (フラッシュ赤羽) との4回戦で4ラウンドTKO敗後、急性硬膜下血腫にて開頭手術。

3. 国際交流について (平成25年7月1日以降)

(1) WBO (世界ボクシング連合) 第26回年次総会

(8月26日～8月30日、ハンガリー・ブダペスト インターコンチネンタルホテル)

協議事項

- *チャンピオンシップ報告
- *リングオフィシャルセミナー
- *スーパーバイザー&医学セミナー
- *ランキング委員会
- *その他 (2014年開催国はネバダ州ラスベガスで開催予定)

(出席者) JBC 関係: 羽生孝次 試合管理事業部長 富樫光明 島川威 村瀬正一

JPBA 関係: 新田渉世 (川崎新田)、鈴木真吾 (角海老宝石)

ジョー小泉 (リングジャパン)、中屋一生 (JPBA) 他

(2) WBA (世界ボクシング協会) 第92回年次総会

(10月14日～10月18日、ペルー・リマ デルフィンズホテル)

協議事項

- *ランキング会
- *財務報告、会計報告
- *リングオフィシャルセミナー
- *医学セミナー
- *各地域団体報告

(出席者) JBC 関係: 島川威 原田武夫

JPBA 関係: 本田明彦尾 (帝拳)、ジョー小泉 (リングジャパン)、中屋一生 (JPBA) 他

(3) WBC (世界ボクシング評議会) 第51回年次総会

(11月2日～11月8日、タイ・バンコク センタラグラントホテル)

協議事項

- *リングオフィシャルセミナー
- *各地域総会
- *ランキング委員会

*指名挑戦者確認

*その他（袴田巖死刑囚支援にWBCが協力）

（出席者）JBC 関係：森田健本部事務局長 福地勇治 富樫光明 松原暢宏 宮崎久利

JPBA 関係：新田涉世（川崎新田）、鈴木真吾（角海老宝石）

ジョー小泉（リングジャパン）、中屋一生（JPBA）他

(4) OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）51回年次総会

（11月4日、WBC総会同所）

協議事項

*各種報告

*フリーディスカッション

(5) その他

①WBA、WBC、IBF、WBO、OPBF、並びに各国コミッション関係者との交流（役員来日時随時）

②海外でのタイトルマッチに役員派遣

③国際問題の処理について

(6) 海外遠征並びに来日選手の各種試合契約の承認について

4. ボクシング功労者の表彰について（平成25年通期）

(1) 2013年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式。

1月24日東京ドームホテル（2013年1月7日選考）

プロの部10部門（12名） アマの部5部門（10名）

(2) 世界王者獲得並びに各種チャンピオンの引退

[引退]

*元WBC世界スーパー・フライ級チャンピオン 佐藤洋太（協栄）引退。

*元OPBFライト級チャンピオン 三垣龍次（M. T）引退。

*元日本ライト級チャンピオン 近藤明広（日東）引退。

*元OPBF女子スーパー・フライ級チャンピオン つのだのりこ（白井・具志堅）引退。

[獲得]

*IBF世界ミニマム級チャンピオン 高山勝成（仲里）獲得

*WBC世界スーパー・フェザー級チャンピオン 三浦隆司（帝拳）獲得

*WBC世界フライ級チャンピオン 八重樫東（大橋）獲得

*WBO世界バンタム級チャンピオン 亀田和毅（亀田）獲得

*IBF世界スーパー・フライ級チャンピオン 亀田大毅（亀田）獲得

*IBF女子世界ライト・フライ級チャンピオン 柴田直子（ワールドスポーツ）

*WBC女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 安藤麻里（フューチャー）獲得

(3) JBC試合役員等功労表彰

5. 機関誌の発行について

(1) ボクシング広報（月刊）

(2) ボクシング年鑑

(3) U-15ボクシング全国大会開催

(2013年9月1日、東京・後樂園ホール、参加者106名)

6. 選手記録（戦績、診断の両記録カード）、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存（継続）

7. その他（平成25年通期）

(1) 物故者

田中富士夫氏（埼玉セントラルジム会長）3月5日死去（76歳）

角田吉夫（元JBC関西事務局長）6月28日死去（86歳）

高山一夫（元日本フェザー級王者）9月29日死去（77歳）

小熊坂諭（元日本ミニマム級王者）（36歳）

大塚明夫（JBCコミッションリーダー）11月3日死去（67歳）

林宏至（大星ジム会長）12月13日死去（52歳）

岡田哲慎（ランドジム）1月6日死去（21歳）

(2) 紛争処理

(3) JBC/JPBA(ボクシング協会) 合同会議

(4) アマチュア関係者との協議

年間優秀選手表彰選考。アマチュアとの交流について。

(5) 処分

①大沢永吉（大星：マネージャー）ライセンス取り消し（1月22日付）

平成24年12月16日韓国においてJBCが認可していないWBOアジアパシフィックフェザー級暫定タイトルマッチと知りながら所属の大沢宏晋を試合出場させ、また海外遠征届けに虚偽の記載をし、悪質な隠蔽工作を図った。

②野上真司（大星：セコンド）ライセンス取り消し（1月22日付）

前項①の事案につき、同内容。

③大沢宏晋（大星：ボクサー）

平成24年12月16日よりボクサーライセンスの1年間停止処分（1月22日付）

大沢は平成24年12月16日、韓国ソウルに於いて、JBCが認定していないWBOアジアパシフィックフェザー級暫定タイトルマッチと知りながら本試合に出場し

た。

- ④林宏至（大星：クラブオーナー） 厳重注意処分（1月22日付）
前項③の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れない。
- ⑤堀毛勲（大星：トレーナー） 戒告処分（3月14日付）
堀毛は平成24年12月16日、韓国ソウルに於いて、所属する大沢宏晋がJBCが認定していないWBOアジアパシフィックフェザー級暫定タイトルマッチに出場した際、セコンドとして帯同した。
- ⑥谷口将悟（KG大和：ボクサー）
平成25年6月23日よりボクサーライセンスの6ヶ月停止処分（7月16日付）
平成25年6月23日、体重が落ちない事を理由に規定の時刻までに公式計量会場に現れず失踪し、予定されていた試合をキャンセルせしめた。
- ⑦片渕剛太（KG大和：クラブオーナー） 厳重注意処分（7月16日付）
前項⑥の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れない。
- ⑧嶋聡（亀田：マネージャー） 厳重注意処分（10月2日付）
平成25年9月2日、翌3日に香川県で行われた同ジム所属の亀田大毅選手のIBF世界スーパー・フライ級タイトルマッチ試合における計量について、IBFルールに基づき試合当日の午前10時に行う旨マスコミに公表していたにも関わらず、計量時刻が午前8時に変更されたことをマスコミ及びJBCに通知しなかった。その結果、当該計量は公開されなかった。
このことは報道関係者及び世界戦における各種行事の円滑な進行を担うJBCを軽視する行為であって、上記試合当日、徒に混乱を招いた。
- ⑨吉井真二（亀田：プロモーター） 厳重注意処分（10月2日付）
前項⑧の事案につき、プロモーターとしての管理監督をしなければならないにも関わらず、これを怠り、上記の事態を生ぜしめた。
- ⑩瀬川正義（横浜光：セコンド） 厳重注意処分（11月21日付）
平成25年8月13日付JBCより発令された「バンデージ装着方法について」と題する通達に背き、同年11月2日の後楽園ホールでの試合に於いて、出場する選手のナックルパートにねじり固めたバンデージを装着する行為に至った。
この行為はスポーツとしてのプロボクシングの尊厳を著しく貶める行為である。

(6) 理事会、評議員会

- ①（財）日本ボクシングコミッション理事会・実行委員会（2月28日、後楽園飯店）
- ②一般財団法人日本ボクシングコミッション理事会（6月27日、8月23日、12月17日、後楽園飯店）
- ③一般財団法人日本ボクシングコミッション評議員（6月20日、9月2日、後楽園飯店）